



JAVADA

JAPAN VOCATIONAL ABILITY DEVELOPMENT ASSOCIATION

一人ひとりの力を最大限に活かすために。



JAVADA
JAPAN VOCATIONAL ABILITY DEVELOPMENT ASSOCIATION

中央職業能力開発協会

すべての働く人々のために。

理 念

キャリア形成、技能の振興、企業における人材育成の支援を通じて、豊かな勤労者生活の実現と活力ある経済社会の発展に貢献するとともに、国の職業能力開発施策の発展に寄与します。

職業能力開発を通じて 持続的な社会の発展に貢献します。



経済社会の構造的な変化、特にグローバルな経済競争が激しくなっている今日において、人口減少社会の問題や団塊世代の引退による技能継承や人材確保の問題など、企業を取り巻く環境は大きく変化しています。その中で、豊かで安定した職業生活を送るためには、働く人一人ひとりが自らの職業能力の開発・向上に取り組むことと、企業と社会がキャリア形成を支援していく環境作りが求められております。

私ども JAVADA（中央職業能力開発協会）は、1979年（昭和54年）に職業能力開発促進法に基づき設立されて以来、時代の変化と社会のニーズに的確に対応するべく努めて参りました。

JAVADAは、職業能力評価の専門機関として、職業能力が適正に評価されるように「職業能力評価」に関する各種事業を行うとともに、働く人々の「キャリア形成支援」に努めております。また、ものづくりとそれを支える人材育成は、産業の根幹を成すものであることから、ものづくり尊重の気運を醸成するための「技能振興」に関する各種事業を行っております。

キャリア形成の支援、技能の振興、企業における人材育成の支援を通じて、社会の発展に寄与し働く人々の職業生活の充実につながりますよう努めて参りますので、今後とも、皆様のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

中央職業能力開発協会
会長 大橋 徹二



職業能力開発協会章

職業訓練 Vocational Training の頭文字である V と、直角測定具のスケア Square の図形で職業訓練を、また、キャリパス (Callipers) で製品を測定検査している図形で技能検定を表象したものです。全体的な図形ではコブシ (腕) で能力の意味をもっています。

JAVADA が行う事業の枠組み

技能検定 (国家検定)
コンピュータサービス技能評価試験
ビジネス・キャリア検定試験

若年者ものづくり競技大会
技能五輪全国大会 技能五輪国際大会
技能グランプリ
若年技能者人材育成支援等事業の実施

職業能力評価試験

従業員の能力評価アップで
仕事の質の向上

ものづくり基盤の強化

技能尊重の機運を高めるとともに、
技能者の地位や技能水準の向上

JAVADA
JAPAN VOCATIONAL ABILITY DEVELOPMENT ASSOCIATION
中央職業能力開発協会

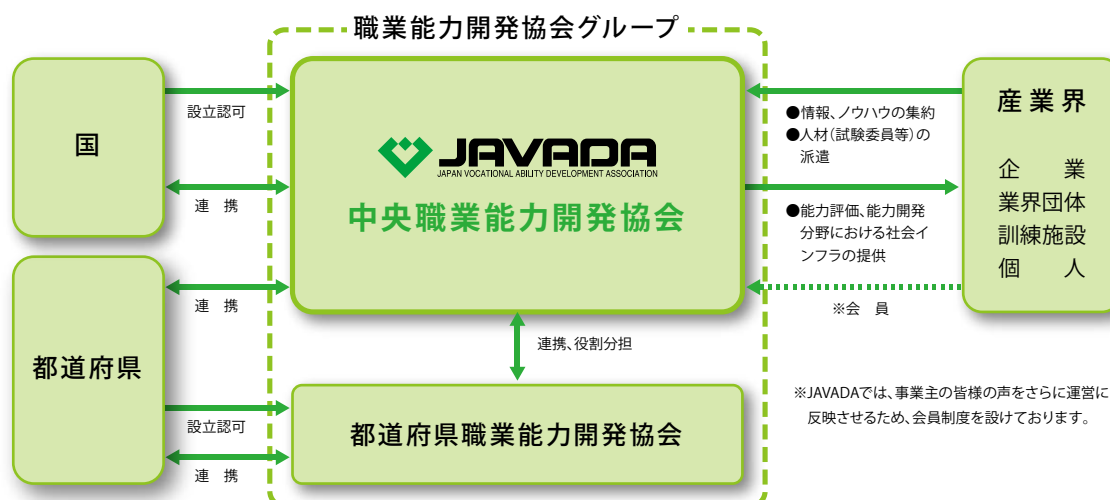
キャリア形成支援

適切な人材教育で従業員の
仕事意欲の向上

キャリア形成支援ツールの提供
キャリア形成支援セミナーの開催

産業界、国、都道府県との密接な連携

JAVADA (中央職業能力開発協会) は、産業界、国、都道府県と密接な連携の下、公平・公正な能力評価システムを実現するとともに、職業能力開発に関する総合的な公的機関として、都道府県職業能力開発協会とともに、全国でサービスを展開しております。



職業能力評価試験

一人ひとりの持てる職業能力を適正に評価することは、個人にとっては自らの職業能力をアピールしたり、今後のキャリアアップの目標設定の目安にもなります。また、企業にとっては、人事考課の判断基準や人材配置の適正化の指標にもなります。

JAVADAは、様々な分野で働く方々が適正な評価を得られるよう、次の職業能力評価試験を実施しています。

技能検定（国家検定）

技能検定は、働く人々の有する技能を一定の基準により検定し、国として証明する国家検定制度です。技能検定は、技能に対する社会一般の評価を高め、働く人々の技能と地位の向上を図ることを目的として、職業能力開発促進法に基づき実施されています。

技能検定は、1959年（昭和34年）に実施されて以来、時代のニーズに応じて職種の充実が図られ、2024年現在で、

- 造園、とび、配管、塗装などの建設関係32職種
- 鋳造、金属プレス加工、めっきなどの金属加工関係19職種
- 鉄道車両製造・整備、油圧装置調整などの一般機械器具関係12職種
- 半導体製品製造、自動販売機調整などの電気・精密機械器具関係9職種
- パン製造、菓子製造、みそ製造、酒造などの食料品関係7職種
- 染色、婦人子供服製造、紳士服製造、和裁などの衣服・繊維製品関係8職種
- 家具製作、建具製作、表装などの木材・木製品・紙加工品関係6職種
- プラスチック成形、強化プラスチック成形のプラスチック製品関係2職種
- 時計修理、貴金属装身具製作の貴金属・装身具関係2職種
- プリプレス、印刷、製本の印刷製本関係3職種
- 商品装飾展示、フラワー装飾など上記職種の他32職種



造園職種



機械加工職種



電気機器組立て職種



和裁職種

の全132職種について実施されています。

この132職種のうち111職種について、JAVADAが試験問題を作成し、都道府県職業能力開発協会が検定を実施しています。

技能検定の合格者には、厚生労働大臣名（特級、1級、単一等級）または都道府県知事名（2級、3級、基礎級）の合格証書が交付され、技能士と称することができます。

技能検定の合格者は2022年度（令和4年度）までに500万人^{*}を超え、確かな技能の証として各職場において高く評価されています。 ^{*}都道府県が実施するもの

▼技能検定の等級区分

技能検定には、現在、特級、1級、2級、3級に区分するもの、単一等級として等級を区分しないもの、外国人技能実習生を対象とした基礎級があります。それぞれの技能の程度は次のとおりです。

- 特 級 …………… 管理者または監督者が通常有すべき技能の程度
- 1級及び単一等級 …… 上級技能者が通常有すべき技能の程度
- 2 級 …………… 中級技能者が通常有すべき技能の程度
- 3 級 …………… 初級技能者が通常有すべき技能の程度
- 基礎級 …………… 基本的な業務を遂行するために必要な基礎的な技能の程度

ビジネス・キャリア検定試験（公的資格試験）

後援：厚生労働省（ロジスティクス分野後援：経済産業省／国土交通省）（生産管理分野後援：経済産業省）

ビジネス・キャリア検定試験は、人事・人材開発・労務管理、営業・マーケティング、そして生産管理、ロジスティクスなど8分野の中から、自分の職種に合った試験を受験できる厚生労働省が定める職業能力評価基準に準拠した試験です。

1994年（平成6年）の開始時から、延べ受験者数は70万人を超え、人事の昇進・昇格要件や自己啓発として、様々な業種の多くの企業様にご活用いただいております。

受験にあたっては、標準テキスト、過去問題解説集のほか、受験対策講座としてJAVADAが認定した「認定講座」（通学・通信）があり、学習しやすい環境が整っています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

【試験分野】

人事・人材開発・労務管理／経理・財務管理／営業・マーケティング／生産管理
企業法務・総務／ロジスティクス／経営情報システム／経営戦略

【等級区分】

	受験対象者として想定される方
1級	実務経験10年以上（部長、ディレクター相当職を目指す方）
2級	実務経験5年程度（課長、マネージャー相当職を目指す方）
3級	実務経験3年程度（係長、リーダー相当職を目指す方）
BASIC級	学生、就職希望者、内定者、入社して間もない方



コンピュータサービス技能評価試験（公的資格試験）

コンピュータサービス技能評価試験は、教育訓練施設において「ワープロソフトや表計算ソフトの操作方法を学習した方」や事業所において「ソフトを活用した業務を行う方」を対象とした試験です。本試験は「実務作業を想定した実践的な内容」であるため、即戦力の人材を育成・評価することができ、「ワープロ」・「表計算」・「情報セキュリティ」の3部門があります。

教育訓練施設では「就職・転職・派遣就業等」に際し実力の証明として、事業所では「個々人におけるパソコン操作のスキルアップ」に際し客観的な証明としてご活用いただいております。

また、受験に必要な資格や条件はなく、どなたでも受験していただけます。

1983年（昭和58年）の開始時から、延べ275万人を超える方々に受験いただいております。試験に合格すると「技士」の称号を取得することができます。

「ワープロ部門」及び「表計算部門」

等級	レベル
1級	エキスパート（応用）レベル
2級	スタンダード（実務）レベル
3級	エントリー（入門）レベル

「情報セキュリティ部門」の試験は、社会に出て働く全ての人が必要知っておかなければならない知識を問う試験で、等級は単一級です。従業員へのセキュリティに関する教育後に行う効果測定のツールとして、また、就職・転職・派遣就業等の際に差別化を図る資格として活用することができます。



ものづくり基盤の強化

2002年以降国内の全産業の就業者数は緩やかな増加傾向にあるものの、全産業に占める製造業の就業者数の割合は減少傾向にある。特に若年者の製造業への入職者数の伸びは鈍く、「若年者のものづくり離れ」、「技能離れ」が見られ、我が国の国際競争力の源泉ともなっている優れた技能の維持・継承、若年ものづくり人材の確保・育成が大きな課題となっています。

そのため、各種技能競技大会の実施を通じ目標を与えることにより、高い水準の技能を目指す優れた技能者の育成や高度な技能の継承、多くの企業・訓練機関等における職業訓練の促進を図るとともに、技能の魅力や重要性の理解促進、技能尊重気運の醸成等を目指します。

若年者ものづくり競技大会

職業能力開発施設、工業高等学校等において、技能を習得中の企業等に就業していない原則20歳以下の若年者を対象に、これらの若年者に目標を付与するとともに、若年技能者の裾野の拡大を図ることを目的に、2005年度（平成17年度）から開催されています。

回	年度	主な開催地	参加選手数
19	2024	群馬県	354
18	2023	静岡県	338
17	2022	広島県	340
16	2021	愛媛県	330
15	2020	広島県	(中止)

2025年度の第20回大会は香川県で開催予定



技能五輪全国大会

技能五輪全国大会は、原則23歳以下の青年技能者が技能レベルを競う競技大会です。次代を担う技能者の育成に当たっての努力目標となるとともに、「ものづくり」の大切さ、素晴らしさを実感してもらうことを目的に開催されています。普段目に見ることができない、ものづくりの過程を間近で見ることができ、多くの来場者に驚きと感動を与えています。

また、技能五輪全国大会は、技能五輪国際大会の選手選考を兼ねております。

回	年度	主な開催地	参加選手数
62	2024	愛知県	976
61	2023	愛知県	1010
60	2022	千葉県	1014
59	2021	東京都	1028
58	2020	愛知県	944
57	2019	愛知県	1239
56	2018	沖縄県	1292
55	2017	栃木県	1337
54	2016	山形県	1318
53	2015	千葉県	1183

2025年度の第63回大会は愛知県で開催予定



技能グランプリ

技能グランプリは、特級、一級及び単一等級技能士の一層の技能向上を図るとともに、その地位の向上と技能尊重気運の醸成に資することを目的として、2年に1回開催されています。

回	年度	主な開催地	参加選手数
32	2023	福岡県	379
31	2020	愛知県	344
30	2018	兵庫県	533
29	2016	静岡県	514
28	2014	千葉県	444

2025年度の第33回大会は大阪府で開催予定



技能五輪国際大会

技能五輪国際大会は、世界各国から選抜された、原則22歳以下の青年技能者が技能レベルを競う競技大会で、2年に1度開催されます。わが国は、1962年の第11回大会に参加して以来、優秀な成績をおさめています。これまでに1970年の第19回大会(東京・千葉)、1985年の第28回大会(大阪)、2007年の第39回大会(静岡)、2022年の第46回大会(特別開催／一部職種を京都)が日本で開催されており、2028年の第49回大会は愛知県での開催を予定しています。

JAVADAは、同大会の組織委員会である、ワールドスキルズインターナショナル(WSI: WorldSkills International)の日本代表として加盟しており、国際大会に日本選手団を派遣するとともに大会運営に大きな役割を果たしています。

アジアの新興国の追い上げも著しく、毎回激戦が繰り広げられていますが、若き技能者たちは、日頃のたゆまぬ研鑽の成果を発揮し、数々の感動を生み出しています。

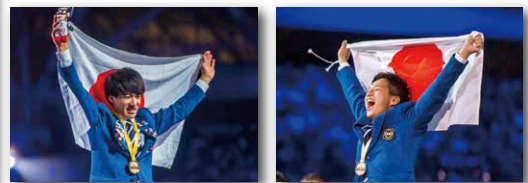


写真提供：WorldSkills International

●技能五輪国際大会 我が国のメダル獲得数

回	開催年	開催国(都市)	金	銀	銅
47	2024	フランス(リヨン)	5	5	4
46	2022	特別開催(日本を含む15の国・地域による分散開催)	8	5	5
45	2019	ロシア連邦(カザン)	2	3	6
44	2017	アラブ首長国連邦(アブダビ)	3	2	4
43	2015	ブラジル(サンパウロ)	5	3	5
42	2013	ドイツ(ライプツヒ)	5	4	3
41	2011	イギリス(ロンドン)	11	4	4
40	2009	カナダ(カルガリー)	6	3	5
39	2007	日本(静岡)	16	5	3

2026年は中国・上海で開催予定



第45回カザン大会 金メダリスト 坂元選手(左)、志水選手(右)

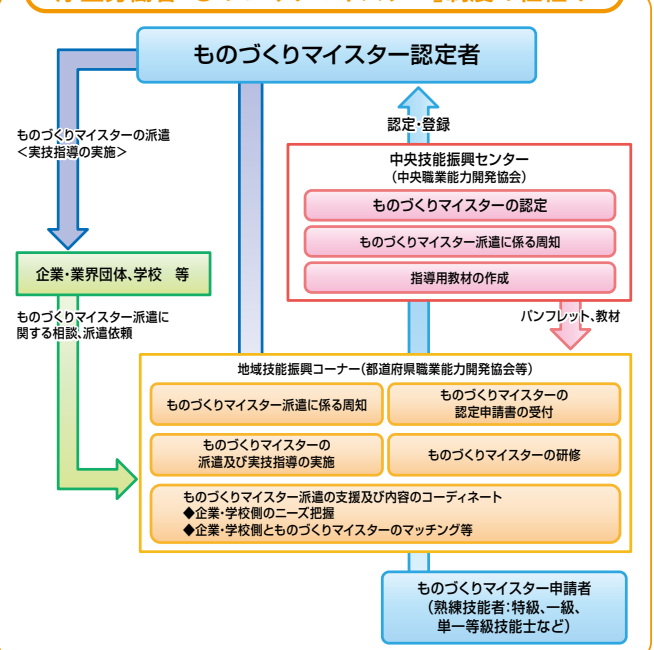
若年技能者人材育成支援等事業の実施

若者のものづくり離れ・技能離れが見られる中、若者が進んで技能者を目指す環境の整備や産業の基盤となる高度な技能を有する技能者の育成と労働者一人ひとりが情報技術を有効に活用できるようになることが重要であることから、早くから情報技術に慣れ親しみ、使いこなせる能力を身につけることが必要となっています。

このため、中央職業能力開発協会は厚生労働省から委託を受け中央技能振興センターとして「若年技能者人材育成支援等事業」を行っております。高度な技能を有する人材を「ものづくりマイスター」として認定を行い実技指導等に派遣。若年技能者等の育成支援及び技能継承支援を行っております。

また、技能検定制度等の情報を発信するポータルサイト「技のとびら」を運営するなど、技能尊重気運の醸成等に貢献しています。

厚生労働省「ものづくりマイスター」制度の仕組み



キャリア形成支援

現代は、働く人一人ひとりがそれぞれの職業生涯設計に照らし合わせて、働く場や働き方を選ぶ時代です。働く人には、個人の主体的なキャリア開発が求められます。一方、企業には、従業員のキャリア開発を支援することが求められます。JAVADA は、ツール・教材やセミナー・研修の提供を通じて、企業の経営方針と調和した自律的なキャリア形成を支援します。

キャリア形成支援ツールの提供

●CADS (キャッツ)

主に若手・ミドルを対象とした、自己理解を通してこれからの働き方をデザインする研修教材です。

●CADI (キャディ)

めまぐるしく変化する社会環境に対して、自分がキャリア形成力をどの程度持っているか、またどのような個人的傾向があるかを把握するための心理学的検査(環境変化自己診断ツール)です。

85項目の質問から、キャリア形成力5尺度、個人的傾向3尺度を測定し、自分の気づきを促します。

活用企業 CADS & CADI の声

- 自分にも部下にも人生があることを改めて認識しました(情報通信業A社)
- CADIで初めて、自分の強み弱みがわかりました(運輸業B社)
- 職員と共感しながら話せるようになりました(医療・福祉業C社)

●キャリア・シフトチェンジ(CSC)のためのワークショップ教材

キャリア・シフトチェンジとは、高年齢期に達する前段階のある時点で、これまで培ってきたスキル、行動特性、職業観等を棚卸しし、高年齢期の働き方に向けて仕事の型を作り直していくことを意味します。

シニア世代になっても働き続けることが当たり前となっている中で、仕事で求められる役割が変わっても生き生き働き続けるために必要な「変化対応に必要な基礎能力」を自己診断できる教材です。

※この教材は、キャリア・シフトチェンジのためのワークショップインストラクター養成研修で修了認定を受けたインストラクターのみが入手可能です。

活用企業 CSC の声

- 環境変化に対応しながら能力をブラッシュアップさせることに年齢は関係ないと伝えることができました(卸売業 Mさん)
- シニア社員の若手社員に対する接し方が変わりました(金融業 Nさん)
- シニア社員の働く意識を「腰掛け」から「生き生き働く」へ促す良い機会となりました(地方公共団体 Iさん)

キャリア形成支援に係る研修・セミナーの開催

キャリア形成支援セミナー

企業の職業能力開発推進者や人材育成担当者の方々を対象に、実務経験豊富な講師による、キャリア形成支援をテーマとした実践的なセミナーを開催しています。

キャリア・シフトチェンジ（CSC）のための ワークショップインストラクター養成研修

定年再雇用などで社内での仕事の役割や立場が変わっても、会社の戦力として生き活きと働き続けることは、人手不足の現代では企業・従業員個人双方にとって重要な課題です。

この研修では、JAVADAで開発したワークショップ教材を活用して、40歳代半ばから50歳代の方を対象とした定年後の環境変化等に備えるための行動変容を促す研修（キャリア・シフトチェンジのためのワークショップ）を実施するインストラクター（研修講師）を養成します。



CSCインストラクター養成研修の
受講風景

ワークショップの体験

- 個人ワークとグループワークによる事例検討
- プラットフォーム能力の解説
- 2種類の診断票を使ったプラットフォーム能力の自己診断
- 行動計画の策定
- 自己開示とフィードバック など

ワークショップを行うための実施上の解説

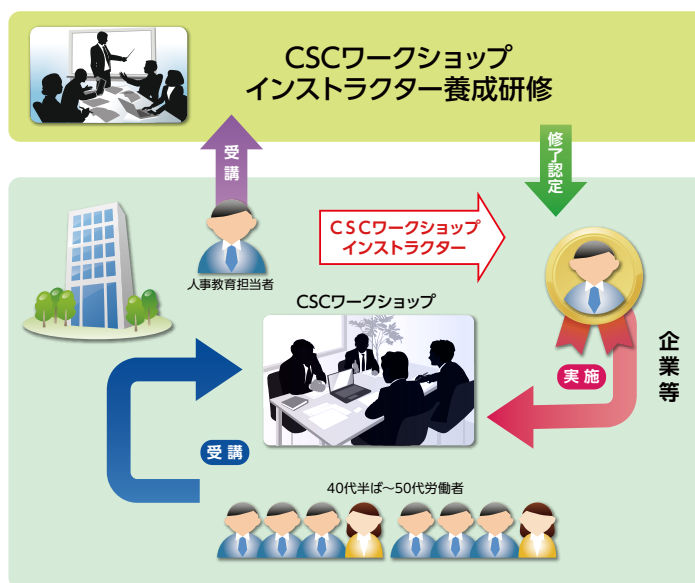
- 研修の目的、位置づけやプラットフォーム能力指標化の背景説明
- 教材購入と利用の仕方（カスタマイズ）の説明
- 生き生き働くシニアのイメージ共有 など

研修をより深く理解いただくためのワーク

- 用語説明の仕方
- 事例検討における解答例に対するロールプレイ
- 研修全般に関するシミュレーション
- 社内展開検討 など

詳しくは、ホームページをご覧ください。

CSCワークショップと修了認定インストラクターの位置づけ



教育訓練給付制度における講座指定の支援と指定講座に関する情報提供

働く人々の主体的な能力開発の取り組みを支援し、雇用の安定と再就職の促進を図るために雇用保険の給付制度の一つとして運営されている教育訓練給付制度に関して、教育訓練給付制度の講座指定を希望する教育訓練機関に対する支援や、厚生労働大臣指定を受けている教育訓練講座に関する情報提供等を行っています。

JAVADA（中央職業能力開発協会）について

設立

1979年（昭和54年）7月1日

設立根拠法

職業能力開発促進法（昭和44年法律第64号）

設立目的

職業能力の開発及び向上の促進の基本理念の具現に資するため、都道府県職業能力開発協会の健全な発展を図るとともに、国及び都道府県と密接な連携の下に職業能力の開発の促進を図ること。

沿革

- 1979年（昭和54年）
 - ・（社）全国共同職業訓練中央会及び中央技能検定協会を統一して、中央職業能力開発協会を設立
 - ・事務所を港区赤坂に設置
 - ・技能五輪国際大会へ日本選手団を派遣（第25回アイルランド大会）
- 1980年（昭和55年）
 - ・中央職業能力開発協会主催として初めての技能五輪全国大会を開催（大会としては第18回大会）
- 1982年（昭和57年）
 - ・技能検定1級合格者等の熟練技能者による競技大会を技能グランプリとして初めて開催（第1回大会）
- 1983年（昭和58年）
 - ・コンピュータサービス技能評価試験（OA機器操作技能評価試験〔当時〕）を開始
- 1985年（昭和60年）
 - ・第28回技能五輪国際大会が大阪府で開催される
- 1988年（昭和63年）
 - ・技能検定に、1級の上に位置付けられるものとして、管理者又は監督者を対象とした特級が創設される
- 1993年（平成5年）
 - ・技能検定に、職業訓練校生や工業高校生などの初級技能者を対象とした3級、外国人技能実習生の技能評価を行う基礎級が導入される
 - ・技能者を対象とした技能検定と双璧を担うべく事務系職種に従事する者を対象とした「ビジネス・キャリア検定試験」を開始
- 1998年（平成10年）
 - ・国からの補助金依存から脱却、民間法人化
 - ・事務所を文京区小石川に移転
- 2005年（平成17年）
 - ・職業能力開発施設、工業高校等で技能を習得中である未就業者の若者を対象とした技能競技大会を初めて開催（第1回若年者ものづくり競技大会）
- 2007年（平成19年）
 - ・2007年ユニバーサル技能五輪国際大会として、静岡県で第39回技能五輪国際大会が第7回国際アビリンピックと同時開催される
- 2010年（平成22年）
 - ・事務所の一部を新宿区西新宿に移転
- 2012年（平成24年）
 - ・協会事務所を新宿区西新宿に一元統合化
- 2013年（平成25年）
 - ・若年技能者人材育成支援等事業（ものづくりマイスター制度等）を開始
- 2025年（令和7年）
 - ・事務所を豊島区高田に移転

歴代会長

氏名	所属（就任時）	就任年月日
古賀 繁一	三菱重工業(株)	1979年（昭和54年）7月1日
三鬼 彰	新日本製鐵(株)※	1990年（平成2年）7月1日
三好 俊吉	JFEホールディングス(株)	1998年（平成10年）7月1日
立石 信雄	オムロン(株)	2008年（平成20年）7月1日
釜 和明	(株)IHI	2013年（平成25年）8月1日
大橋 徹二	(株)小松製作所	2022年（令和4年）7月1日～現在

※現在の日本製鉄(株)



第18回 技能五輪全国大会



第1回 技能グランプリ



第28回 技能五輪国際大会



基礎級技能検定



第1回若年者ものづくり競技大会



2007年ユニバーサル技能五輪国際大会

都道府県職業能力開発協会所在地一覧

協 会 名	郵便番号	所 在 地	電話番号	技能振興コーナー 電話番号	ホームページアドレス
北海道職業能力開発協会	003-0005	札幌市白石区東札幌 5 条 1-1-2 北海道立職業能力開発支援センター内	011-825-2385	011-825-2387	https://www.h-syokunou.or.jp/
青森県職業能力開発協会	030-0122	青森市大字野尻字今田 43-1 青森県立青森高等技術専門校内	017-738-5561	017-738-5561	https://www.a-noukaikyo.com/
岩手県職業能力開発協会	028-3615	紫波郡矢巾町大字南矢幅 10-3-1 岩手県立産業技術短期大学校内	019-613-4620	019-613-4622	https://www.noukai.com/
宮城県職業能力開発協会	981-0916	仙台市青葉区青葉町 16-1	022-271-9260	022-727-5380	http://www.miyagi-syokunou-kyoukai.com/
秋田県職業能力開発協会	010-1601	秋田市向浜 1-2-1 秋田県職業訓練センター内	018-862-3510	018-874-7135	https://www.akita-shokunou.org/
山形県職業能力開発協会	990-2473	山形市松栄 2-2-1 県立山形職業能力開発専門校内 3F	023-644-8562	023-645-3131	https://www.y-kaihatu.jp/
福島県職業能力開発協会	960-8043	福島市中町 8-2 福島県自治会館 5F	024-525-8681	024-522-3677	https://f-shokunou.or.jp/
茨城県職業能力開発協会	310-0005	水戸市水府町 864-4 茨城県職業人育成センター内	029-221-8647	029-221-8647	https://ibaraki-vada.com
栃木県職業能力開発協会	320-0032	宇都宮市昭和 1-3-10 県庁舎西別館	028-643-7002	028-612-3830	https://www.tochi-vada.or.jp/
群馬県職業能力開発協会	372-0801	伊勢崎市宮子町 1211-1	0270-23-7761	0270-23-7761	https://www.gvada.jp/
埼玉県職業能力開発協会	330-0074	さいたま市浦和区北浦和 5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎 5F	048-829-2801	048-814-0011	https://www.saitama-vada.or.jp/
千葉県職業能力開発協会	261-0026	千葉市美浜区幕張西 4-1-10	043-296-1150	043-296-7860	https://chivada.or.jp/
東京都職業能力開発協会	102-8113	千代田区飯田橋 3-10-3 東京しごとセンター 7F	03-6631-6050	03-6631-6056	https://www.tokyo-vada.or.jp/
神奈川県職業能力開発協会	231-0026	横浜市中区寿町 1-4 かながわ労働プラザ 6F	045-319-4586	045-319-4841	https://www.kan-nokaikyo.or.jp/
新潟県職業能力開発協会	950-0965	新潟市中央区新光町 15-2 新潟県公社総合ビル 4F	025-283-2155	025-283-2155	https://www.nvada.com/
富山県職業能力開発協会	930-0094	富山市安住町 7-18 安住町第一生命ビル 2F	076-432-9883	076-432-8870	https://www.toyama-noukai.or.jp/
石川県職業能力開発協会	920-0862	金沢市芳斉 1-15-15 石川県職業能力開発プラザ 3F	076-262-9020	076-254-6487	https://ishivada.com/
福井県職業能力開発協会	910-0003	福井市松本 3-16-10 福井県職員会館ビル 4F	0776-27-6360	0776-27-6360	https://www.fukui-shokunou.jp/
山梨県職業能力開発協会	400-0055	甲府市大津町 2130-2	055-243-4916	055-243-4916	http://www.yavada.jp/
長野県職業能力開発協会	380-0836	長野市大字南長野南県町 688-2 長野県婦人会館 3F	026-234-9050	026-234-9080	https://www.navada.or.jp/
岐阜県職業能力開発協会	509-0109	各務原市テクノプラザ 1-18 岐阜県人材開発支援センター内	058-322-3677	058-379-0521	https://www.gifu-shokunou.or.jp/
静岡県職業能力開発協会	424-0881	静岡市清水区楠 160	054-345-9377	054-344-0202	https://www.shivada.com/
愛知県職業能力開発協会	451-0035	名古屋市西区浅間 2-3-14 愛知県職業訓練会館内	052-524-2040	052-524-2075	https://www.avada.or.jp/
三重県職業能力開発協会	514-0004	津市栄町 1-954 三重県栄町庁舎 4F	059-228-2732	059-225-1817	http://www.mivada.or.jp/
滋賀県職業能力開発協会	520-0865	大津市南郷 5-2-14	077-533-0850	077-537-1213	https://shiga-nokaikyo.or.jp/
京都府職業能力開発協会	612-8416	京都市伏見区竹田流池町 121-3 京都府立京都高等技術専門学校 2F	075-642-5075	075-642-5074	https://www.kyo-noukai.com/
大阪府職業能力開発協会	550-0011	大阪市西区阿波座 2-1-1 CAMCO 西本町ビル 6F	06-6534-7510	06-4394-7833	https://www.osaka-noukai.jp/
兵庫県職業能力開発協会	650-0011	神戸市中央区下山手通 6-3-30 兵庫勤労福祉センター 1F	078-371-2091	078-599-9134	https://www.noukai-hyogo.jp/
奈良県職業能力開発協会	631-0824	奈良市西大寺南町 8-33 奈良商工会議所会館 3F	0742-52-4122	0742-52-4122	https://www.aaa.nara.nara.jp/
和歌山県職業能力開発協会	640-8272	和歌山市砂山南 3-3-38 和歌山技能センター内	073-425-4555	073-499-6484	https://w-syokunou.com/
鳥取県職業能力開発協会	680-0845	鳥取市富安 2-159 久本ビル 5F	0857-22-3494	0857-30-0708	http://www.hal.ne.jp/syokunou/
島根県職業能力開発協会	690-0048	松江市西嫁島 1-4-5 SP ビル 2F	0852-23-1755	0852-61-0051	https://www.noukai-shimane.or.jp/
岡山県職業能力開発協会	700-0824	岡山市北区内山下 2-3-10 アマノビル 3F	086-225-1546	086-225-1580	http://www.okayama-syokunou.or.jp/
広島県職業能力開発協会	730-0052	広島市中区千田町 3-7-47 広島県情報プラザ 5F	082-245-4020	082-245-4020	https://www.hirovada.or.jp/
山口県職業能力開発協会	753-0051	山口市旭通り 2-9-19 山口建設ビル 3F	083-922-8646	083-922-8646	https://y-syokunou.com/
徳島県職業能力開発協会	770-8006	徳島市新浜町 1-1-7	088-662-5366	088-662-1974	https://www.tokunoukai.jp/
香川県職業能力開発協会	761-8031	高松市郷東町 587-1 地域職業訓練センター内	087-882-2854	087-882-2910	https://www.noukai-kagawa.or.jp/
愛媛県職業能力開発協会	791-8057	松山市大可賀 2-1-28 アイテムえひめ内	089-993-7301	089-961-4077	https://www.ehime-noukai.or.jp/
高知県職業能力開発協会	781-5101	高知市布師田 3992-4	088-846-2300	088-846-2303	https://kovada.or.jp/
福岡県職業能力開発協会	813-0044	福岡市東区千早 5-3-1 福岡人材開発センター 2F	092-671-1238	092-681-2110	https://www.fukuoka-noukai.or.jp/
佐賀県職業能力開発協会	840-0814	佐賀市成章町 1-15	0952-24-6408	0952-24-6667	https://saga-noukai.com/main/
長崎県職業能力開発協会	851-2127	西彼杵郡長与町高田郷 547-21 長崎高等技術専門学校敷地内	095-894-9971	095-883-1671	https://www.nagasaki-noukai.or.jp/
熊本県職業能力開発協会	861-2202	上益城郡益城町田原 2081-10 電子応用機械技術研究所内	096-285-5818	096-289-5015	https://www.noukai.or.jp/
大分県職業能力開発協会	870-1141	大分市大字下宗方字古川 1035-1 大分職業訓練センター内	097-542-3651	097-542-6441	https://noukai-oita.com/
宮崎県職業能力開発協会	889-2155	宮崎市学園木花台西 2-4-3	0985-58-1570	0985-58-1570	https://www.syokuno.or.jp/
鹿児島県職業能力開発協会	892-0836	鹿児島市錦江町 9-14	099-226-3240	099-226-3240	https://syokunou.or.jp/
沖縄県職業能力開発協会	900-0036	那覇市西 3-14-1	098-862-4278	098-894-3231	https://oki-vada.or.jp/

(令和 7 年 1 月現在)

[JAVADA が行う事業に係るロゴマーク等]

技能検定制度・技能士のロゴマーク



技能検定制度・技能士を広く周知、普及することを目的としたものです。

【デザインの趣旨】

- 「Global」「Ginou(技能)」の「G」をモチーフとして作成。
- 日の丸はその中心であり続ける人たちの決意を、人が原点であり、原点を忘れないことでもあります。
- 整然と並ぶ姿は、「正確なすり合わせ」「職人」「努力」「技術の蓄積」「等級」を表しています。

厚生労働省ものづくりマイスターシンボルマーク



ものづくりマイスターの認知度を向上させ、活動しやすい環境を作り出すとともに、ものづくりマイスターに誇りと使命感をもって活動してもらうことを目的として定めたものです。

【デザインの趣旨】

- ものづくりマイスターの「M」の字をモチーフに、2人の技能者を表しています。
- 左側は手を動かし研鑽を積んで成長している若年技能者、右側はものづくりマイスターを表しています。

グッドスキルマーク



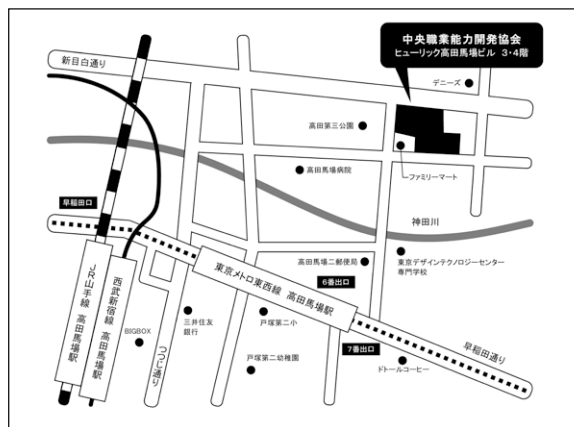
技能検定制度に合格した一級技能士等（特級技能士、一級技能士及び単一等級の技能士）が製作した製品であることを示すマークです。

一級技能士等が持つ熟練の技能を活かした製品等に、「グッドスキルマーク」の表示を認めることで、優れた技能によって製作された高付加価値の製品であることを国内外の消費者に向けてアピールし、ものづくり日本の再興と、熟練技能の継承を図ることを目的としています。



中央職業能力開発協会
www.javada.or.jp

〒171-0033 東京都豊島区高田3-19-10
ヒューリック高田馬場ビル3・4階
TEL.03-5843-3367 [代表] FAX.03-3590-6690



(交通案内)

JR山手線・西武新宿線「高田馬場駅」

早稲田口より徒歩約7分

東京メトロ東西線「高田馬場駅」

6・7番出口より徒歩約7分

